

## 仙人通信 227 御嶽山 (343m)

御嶽山は、埼玉県北部の神流川の南に位置する小さな山で、国指定の特別天然記念物である鏡岩で有名な山でもある。

延喜式に載る武蔵二宮・厄払いの神として有名な金讃神社の大きな鳥居を潜った先にある駐車場に車を置きスタートである。

社務所を過ぎると大きな金讃神社の本殿である。本殿の前を進むと直ぐに登山道の標識だ。コースは 30 cm程の幹の檜林の中に、10 cm程の太さの木を模したコンクリートで作られた 2 本を積んだ階段である。コースの両側には 50 cm程の丈の石仏と、参拝者が置かれたのだろうか石の表面にお名前入りの句碑が見事に置かれている。

20 分程登った地点でコースは左に曲がり、左手に大きな岩の鏡岩である。掲示板によると約 1 億年前に関東平野と関東山地の間の八王子構造線の岩断層活動で出来た滑り面とある。大きさは縦 9m・横 4m程の 30° 程に傾いた赤鉄石英岩で、摩擦力で表面が研磨されて、光沢が出ており、近くに人が立つと影や顔まで映ったとあるが、現在は木々で光が遮られ、苔も生じ面影はない。手入れを行い、過去の面影が偲ばれるようにして頂きたいものだ！。更に階段を登り、尾根を進むこと 5 分程で四阿のある休憩広場で、岩尾根を 5 分程で物見台跡である。榛名山から赤城山その奥には、雪化粧した県境の山脈、日光男体山から筑波山に至る山波が西側には秩父や奥武蔵の山脈を見る事が出来た。

四阿に戻った後、北側にある尾根道である。10 分程で女坂コースと別れ男坂コースを採る。

男坂コースには、黄色いロープが張られており、足元を確認しながら 5 分程で山頂だ。

さほど広くない山頂には、白い角棒に安保氏の中世の御岳城本郭が置かれて居たと書かれていた。木々が覆われた山頂ではあるが梢越しに三波石で有名な神流川、そして仙通 27 で紹介した御荷鉾山を望む事が出来た。休憩後、10 分程で先程の四阿まで戻った。法務寺や池が有ったと言われる沢沿いの地点まで 30 分程で往復した後、鏡石・金讃神社を経て丁度 2 時間 (6500 歩) の小さな山旅となりました。 (R 4 . 1 1 . 2 5)

八高線の児玉駅の手前からは、コスモス畑の先に冠雪した浅間山を望む事も出来ました。

石仏や歌碑

鏡岩

赤城山系の山脈

山頂



児玉からの浅間山

